

木のことを知ろう

1 いろいろな木があるよ



一つひとつ違うの分かるかな？
木も日焼けするんだよ



こっちの方が重いような気がする

色もちがうね！

2 カスタネット作りはじまり！



材料はこちらクリの木だよ！

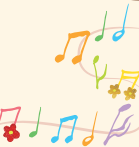
3 削っていくよ



サンドペーパーを使って



ゴシゴシ...



4 角は指を使って削るよ



触るとつるつるしてきた



触っても痛くないようにするんだよ

4本の指でサンドペーパーを持って...

木にも性格や年齢がある人間と一緒に！

最初にさまざまな木材の板を見せてもらった陽登くんと陽葵ちゃん。サクラやスギ、カエデなど、一つひとつ手に取って、重さや色などを自分の手と目で確かめる。「どうして重いのか？」「色が違うのはどうして？」陽葵ちゃんはハテナがいっぱい。針葉樹は比較的軽く、木の性質や、樹齢によっても重さは変わる。木を知りつくした横井先生の話しに耳を傾ける。

今回のカスタネットの材料は、クリ。ドングリの仲間だ。ドングリは身近な存在でも、その木がカスタネットになることに、陽登くんはびっくり。

木の質感が手に馴染むように、サンドペーパーで削っていく。「こんなベラベラな紙で木が削れるの？」と半信半疑な陽登くん。サンドペーパーに残った削りカスと、木材が丸くなっていることを実感し、納得の様子。

巻頭特集 森とぼく、わたしの音楽会！

木の手づくりカスタネットでおともだち



「タンタン♪」と2つの木片が打ち合わさり、かわいい音が鳴るカスタネット。どんな木でできているのかな？ どうやって作るのかな？ 自分で作ったカスタネットはどんな音がするんだろう？ 木と触れ合い、木やモノの大切さを学びながら、各務原市在住の堀さん親子がカスタネット作りに挑戦したよ。



体験したのは...
各務原市在住
堀さん親子
麻里ママ
はると
陽登くん(5歳)
ひまり
陽葵ちゃん(3歳)



教えてくれたのは
横井敦史さん
「アトリエきのこ」代表。岐阜県立森林文化アカデミーを卒業後、岐阜の木のおもちゃの開発事業に携わる。木製おもちゃ製作の傍ら、「ぎふ木育推進員」として木育の普及に取り組む。



カスタネット作りを教えてくれた横井先生も活躍中!

ぎふ木育推進員とは?

岐阜県で推進している、ふるさと教育の一環としての「ぎふ木育」。さまざまな世代が、木に触れ、興味を持ち、さらには現在の環境を考え、ふるさとを誇りに思うことが目標だ。県から委嘱された8名の「ぎふ木育推進員」が、県内外へ、主に未就学児を対象としたワークショップなどを行う。園を訪問し、木や木の実を使った遊びや、木のおもちゃとの触れ合い、ぎふの木を利用したおもちゃ作りなど、内容は盛りだくさん。また、移動型の木のおもちゃ広場「ぎふ木育キャラバン」でも各地をめぐる。子どもたちが木との触れ合いを通して愛着を深め、ふるさとを大切にしている気持ちをはぐくむ試みは、今後も続いていく。

木育イベント

11/3(土) 文化の森・秋祭り

(at岐阜県美術館・岐阜県図書館)
「ぎふの木のおもちゃ広場」を出展!
木とふれあい、木のおもちゃで遊ぼう



みの木工工房 FUKUBE

美濃市に今年6月29日にオープンした「みの木工工房 FUKUBE」。廃校となった下牧小学校の一部を改装して整備され、2階には木のおもちゃを展示するスペースや、実際に木のおもちゃで遊べる多目的ホール、3階は市内の木工職人が木工品の設計や試作品開発を行う木工作業室などが設けられている。定期的に木育教材を使ったワークショップや木のおもちゃ作りを開催、木のカスタネット作りも体験できる。詳細はウェブサイトにて。



Address 美濃市長瀬545
TEL/ 0575-29-3131
Web/ <https://www.greenwoodwork.jp/fukube/>



表紙を撮影したのはここ! 岐阜県立森林文化アカデミー

岐阜県の専修学校である、「岐阜県立森林文化アカデミー」。森林や木材に関わるさまざまな分野で活躍する人材を育成することを目的に、林業や環境教育、木材にかかわるスペシャリストを養成する。また、身近な森ともっと触れ合い、暮らしの中に木を取り入れたいと考えるすべての人を対象に行われる、「森と木のオープンカレッジ」では、さまざまなワークショップや森のようちえん、週末プレーパークなど、わくわく体験がいっぱい。詳細はウェブサイトにて。

みの週末プレーパーク

スケジュール
10/13、11/10、12/1(以降も、月に一度土曜日開催)
森の中で、子どもたちの「やりたい!」と一緒にチャレンジしよう
参加費/ 100円
持ち物/ 水筒、着替え、(昼をまたぐ場合は、お弁当も)

森と木のオープンカレッジ

11/10(土)、11/11(日)
「きのこの切り絵をつくろう!」
「楽しい切り絵づくりを通して、きのこ」を作ろう



Add/ 美濃市曾代88 TEL/ 0575-35-2525 Web/ www.forest.ac.jp ほかにイベントいろいろ!

このマークを見つけたらスマホでチェックしよう!

スマホをかざせば

動画が見える! フリモAR

まずはアプリをダウンロード!

右記の二次元コードまたは対応アプリストアよりダウンロードください。

対応OS
iPhone: iOS 8.0 以上
Android: 4.1 以上

※バージョンが満たないOSはアップデートが必要です

- フリモAR®アプリをダウンロードして起動
- マークがついた写真にカメラをかざすとスキャン開始
※写真の向きにあわせてカメラをかざしてください
- スキャンに成功すると動画がスタート!

※ Apple および Apple ロゴは米国その他で登録された Apple Inc. の商標です。App Store® は Apple のサービスマークです。 ※ Google Play および Google Play ロゴは Google Inc. の商標です

6 クルミの油でコーティング



板がカスタネットに変身するよ

5 カスタネットの突起部分を付けるよ



7 ゴム通し



8 丸の飾りをつけて、できあがり!



自分で作ったカスタネット、どんな音がするかな?

次に突起部分を付ける。カナヅチを使用する時は麻里ママと一緒に。カナヅチの重さや、打ち込めばどんな中へ入っていく様子、どれもが楽しくて新鮮な陽登くん。

横井先生が手にした小さなたる坊主。これは、木の汚れを防ぐオイル。中身はクルミの実だよとの説明に、「えー、そんな効果があるの?」と、またまた新発見。油がしみ込んで木の色が変わる様子に興味津々、手が止まらない。

板にゴムを通して、木の玉で止めたらできあがり。早速指にはめてタンタンタン。リズムを取りながら歌も口ずさむ。音楽会の始まりだ。

「子どもたちがカスタネットや、展示してある木のおもちゃで楽しそうに遊んでいる様子を見て、私も木への関心が高まりました」と麻里ママ。カスタネットを叩いて音を楽しむしながら、大切そうに持ち帰った陽登くんも陽菜ちゃんだった。